1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	たまねぎ40a、白ねぎ110a、水稻50a
自家労働	3人
その他	たまねぎの移植機、収穫機、選別機等機械は5人の共同利用とする。

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目										○		◎	————
2年目						□□□□							

凡例：○播種、.....育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場・倉庫	木・瓦	76 m ²	4,788,000	30	1,436,400	1,436,400	15	95,760	8	670,320	100	26,813
トラクタ	2WD 24ps	1 台	2,202,000	20	440,400	440,400	7	62,914	4	188,743	20	1,510
ロータリ	140cm	1 台	350,900	20	70,180	70,180	7	10,026	4	30,077	20	241
動力噴霧機	6ps	1 台	280,390	27	75,705	75,705	7	10,815	4	32,445	100	1,298
管理機	3.7ps	1 台	248,600	13	31,821	31,821	7	4,546	4	13,638	100	545
たまねぎ移植機	2条2.9PS	0.2 台	263,304	100	263,304	263,304	7	37,615	4	112,844	100	4,514
たまねぎ収穫機	2条2.5PS	0.2 台	276,480	100	276,480	276,480	7	39,497	4	118,492	100	4,740
たまねぎピッカー	3.1ps	0.2 台	276,480	100	276,480	276,480	7	39,497	4	118,492	100	4,740
たまねぎ選別機		0.2 台	68,640	100	68,640	68,640	7	9,806	4	29,416	100	1,177
軽トラック	660cc	1 台	1,200,000	30	360,000	360,000	4	90,000	2	180,000	100	7,200
合計			9,954,794		3,299,410	3,299,410		400,476		1,494,466		52,776

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
たまねぎ	もみじ3号	水田転作	4,500kg	排水の良い水田転換畑	40a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準				燃 料 消費量 (ℓ/10a)	
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 人員		延労働 時 間
(育苗) 苗 床 作 成	8/下	堆肥 セルカ2号 苦土重焼燐 野菜美人	40kg 10kg 2kg 8kg	トラクタ ロータリ 管理機	○玉ねぎ跡は避ける。 ○本ほ10a当たり苗床は床幅1mで長さ90m必要。(90㎡)	0.5 0.5	1	1.5	軽油 2.3 ガソリン 0.3
苗 床 消 毒	9/上	ガスタード 古ビニール	1.8kg 4×45m	人力	○ガス処理は2週間。 ○ガス抜きは10日間行う。 ○表層処理		1	2.0	
播 種	9/中	シーダーテープ	1200m	人力 動力噴霧機 播種機	○シーダーでテープを張り、播種する。 ○発芽を一斉にするために、十分灌水する。	0.4	1	0.5	ガソリン 0.4
灌 水	9/下～10/中			動力噴霧機	○苗床が乾燥すると、発育が悪くなるが、加湿になると病気が発生しやすい。	0.3	1	1.5	ガソリン 0.4
防 除	9/下～11/上	ダイアジノン粒剤5 オソサイド水和剤80 ダコニール1000 リドミルゴールドMZ	450g 17g 10g 17g	動力噴霧機	○べと病の防除を中心に行う。 ○苗床防除を徹底する。	1.8	1	3.0	ガソリン 1.8
(本ほ管理) 耕 起	10/下	堆肥 セルカ2号 苦土重焼燐	2,000kg 100kg 40kg	トラクタ ロータリ	○稲刈り後早めに行い、土を乾燥させる。	2.0	1	3.0	軽油 9.0
施肥・畦立て	11/上～11/中	野菜美人 菜種粕ペレット	100kg 100kg	トラクタ ロータリ	○畦幅は溝を含めて、140cmとする。	1.0	1	4.0	軽油 4.5
苗 取 り 定 植	11/中～11/下	玉ねぎ苗	28,000本	軽トラック 移植機	○大・中・小に分けて、11/25日までに定植する。	1.0	1	4.0	ガソリン 2.2
	11/中～11/下	ダイアジノン粒剤5	4kg	人力	○根はなるべく切らないようにする。 ○大きき別に定植し、株間15cm、4条植えて、深さ3cmにする。	12.0	2	19.0	ガソリン 5.0
除草剤散布	12/上～3/中	ゴーゴーサン乳剤30 バサグラン液剤	400ml 100ml	動力噴霧機 ポンプ	○水100リットルに溶かして散布する。	2.4	1	4.0	ガソリン 1.2 軽油 0.16
防 除	12/上～6/上	ジマンダイセン水和剤 リドミルゴールドMZ アタッキン水和剤 カズミンボルドー ペンレート水和剤 ヨネボン水和剤 ロブラール水和剤	444g 200g 266g 320g 200g 133ml 80ml	人力 動力噴霧機 ポンプ	○水和剤、乳剤には必ず展着剤を使用する。 ○定期的に予防散布を行う。 ○水200リットルに溶かして散布する。	6.0	1	8.0	ガソリン 4.5 軽油 0.6
追 肥	12/中～3/中	NK化成E989	100kg	人力	○追肥は3月上旬までとする。		1	3.0	
収穫・乾燥 選別・貯蔵	6/下～9/下	コンテナ	180箱	収穫機 ピッカー 軽トラック 選別機	○茎葉が50～60%倒伏した頃収穫機で収穫し、ほ場で乾燥する。 ○ピッカーで拾いコンテナ箱に入れて運搬する。 ○選別機で階級ごとに選別する。	10.0	3	38.0	ガソリン 22.0
	6/下～10/下	コンテナ出荷	450箱	軽トラック	○風通しの良い場所で常温で貯蔵し出荷する。	10.0	3	60.0	ガソリン 22.0
合 計								153.0	

5 経営試算(10aあたり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	468,000	市場(10kgダンボール出荷) 4,500 kg 104 円/kg	
	主産物価額	0	生産量 : kg 単価 : 円/kg	
	主産物価額	0	生産量 : kg 単価 : 円/kg	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	468,000		
生産	種 苗 費	35,010		
	肥 料 費	73,247	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	21,020	"	
	諸 材 料 費	16,974	"	
	動力光熱費	18,688		
	農 具 費	28,630	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	3,591	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	2,000		
	共 済 掛 金	0		
	雇 用 労 賃	0		
	減価償却費⑤	100,119	別表のとおり	
	土地改良費	8,750		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	308,029		
費	販売費一般	出荷資材費	165	
	管理費	販 売 諸 費	141,930	
		諸税負担金	3,581	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	2,780	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	875	借入資本利率2%
		小計 (C)	149,331	
経 営 費 (D)	457,360	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	211,900	農 従 労 働 時 間 : 153.0 生産管理労働時間 10.0 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	669,260	主産物単位当たり 149 円/kg 注) (E) = (D) + ⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	11,365	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	13,194	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	11,000			
全算入生産費 (H)	704,820	生産物単位当たり 157 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	10,640	時間当たり 65 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	2	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-236,820	注) (K) = ③ - (H)		
家族労働報酬 (L)	-24,920	時間当たり -153 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-201,260	注) (M) = (I) - ⑧		